

AKAYA PROJECT

赤谷プロジェクト地域協議会 / (公財)日本自然保護協会 / 赤谷森林ふれあい推進センター

赤谷の森だより

2014.12.01

vol. 27

トピックス

- 地域と繋がる赤谷プロジェクト 民話と紙芝居の家 宮崎 りえ子
- みなかみココイラ2014に参加!
- 森の恵みと学びの家プレオープン!

赤谷の森ミニ写真館!

今回のテーマ 「旧三国街道の動物たち!」



旧三国街道の
ツキノワグマ

赤谷の森でわかったこと

「イヌワシの舞う
豊かな森を未来へ!」

(公財)日本自然保護協会・赤谷プロジェクト猛禽類WG事務局

出島 誠一

新治小学校6年生が10月8日の遠足時に設置したセンサーカメラに写った動物です。(設置期間H26.10.8~11.2)



ニホンジカ (オス)



ニホンジカ (メス)



ホンドウサギ



ホンドテン

赤谷の森でわかったこと

(公財) 日本自然保護協会
赤谷プロジェクト猛禽類モニタリング
ワーキング事務局

出島 誠一



赤谷の森には、イヌワシと
いう、翼を広げると2mにもな
る大型の猛禽類が、1つがい、一
年を通じて生息しています。イ
ヌワシは生態系の頂点に立つ動
物で、森の豊かさの象徴と言え
ます。イヌワシはヨーロッパか
ら、ロシア、モンゴル、北アメ
リカなど、北半球の高緯度地域
に広く分布し、草や低い樹木が
生えているような場所を主な生
息地としています。このため、
赤谷の森のような森林地帯にイ
ヌワシが生息していることは、
世界的に、非常にめずらしいこ
とです。

赤谷の森のイヌワシは、三国
山から谷川岳にかけて見られる
ような樹木が少ない開けた場所
で、ノウサギやヤマドリ等の獲
物を獲っていることがわかって
います。一方で、冬になると、
標高が高い場所は大量の雪に覆
われ、獲物となる動物も生息し
にくくなるため、イヌワシは、
少し標高の低い森林地帯で獲物
を獲るようになります。しかし、
人工林やまだ若い樹木が多い林
には、イヌワシが入り込むため

イヌワシの舞う 豊かな森を未来へ！

の空間がなく、獲物がいても獲
ることができません。現在は、
百年以上の時間が経過した樹木
がはえる老齢な自然林や、岩な
どによって樹木が少ない場所な
ど、イヌワシが入り込む空間を
もった場所をたくみに利用して
獲物を獲っているようです。

イヌワシのつがいは2月下旬
頃に卵を産み、4月の下旬に卵
からヒナが孵り、ヒナは7月頃
に巣立ちます。母親のイヌワシ
が卵を温めている期間は、父親
のイヌワシが母親の分の獲物を
獲る必要があります。さらにヒ

ナが孵ってからは、ヒナの分の
獲物も必要になります。2月〜
5月頃の、まだ高標高域には雪
が多く残っている時期に、森の
中で十分に獲物が獲れないとい
ヌワシは子孫を残す事ができな
いのです。

日本のイヌワシのつがいの数は、
1981年から2010年の間
に、333つがいから221つ
がいに減少し、現在の個体数は
500羽程度と報告されており、
絶滅が危惧されています。赤谷
の森では、今年から「イヌワシ
が狩りをする環境の創出試験」
を開始しました。この取り組み
は、現在、イヌワシの生息する
エリアにある人工林を利用して、
イヌワシが獲物を獲れる場所を
つくりながら、より豊かな自然
の林に戻していく取り組みです。
さらに、この取り組みで得られ
た知見を活用して、日本全国で
絶滅の危機にあるイヌワシの生
息環境の向上に役立てたいと考
えています。

イヌワシの舞う日本の森を未
来へ引き継ぐための取り組みを、
赤谷の森からはじめています。



赤谷の森に暮らす1つがいのイヌワシ
(右がメス、左がオス)



人工林伐採して生息環境を向上させるイメージ

○:ハンティング可能、×:ハンティング不可

寄付を募っています。



現在、日本自然保護協会では、イヌワシのモニタリング調査を行うビデオ機器の設置と運用のために寄付を募っています。¥30000のご寄付で、みなかみ町カスタネット工房でつくった特製イヌワシ・カスタネットをプレゼントしています。ご支援よろしくお願い致します。

【ご寄付のお問合せ:公益財団法人日本自然保護協会 電話:03-3553-4101】

地域と繋がる赤谷プロジェクト



民話と紙芝居の家

(NPO)いはるこども文化塾

語り・紙芝居実演

宮崎りえ子

自己紹介と普段取組んでいること(仕事含む)を教えてください。

皆さんこんにちは。私は自然と子供と紙芝居が大好きな宮崎と申します。猿ヶ京温泉にある「民話と紙芝居の家」で、館長(持谷靖子)をはじめ諸先輩方のご指導を頂きながら日々働いています。普段は来館者に館内の説明や「のぞきからくり」、紙芝居の実演、また地元の民話やお願所の紹介などを行っています。毎週土曜日には、館長が子供達に民話話りの指導を行っているのです、そのお手伝いをしながら自分も勉強させて頂いております。「民話や紙芝居」は、どの年齢の方にも楽しんで頂けますし、食育、介護向けの紙芝居、当館オリジナルの手作り紙芝居もあり、魅力一杯です。自然一杯のみなかみ町に沢山の方が足を運んで下さるよう、仕事を通して少しでも貢献できればと奮闘している毎日です。



赤谷の森自然散策 (H26.5.24)

赤谷プロジェクト関係者とお知り合いになった経緯をお知らせください。

2013年11月に泊まれる学校「さる小」で行われた「さる小の乱」というイベント時に赤谷プロジェクトの方が民話や紙芝居に興味を持って下さったのが、きっかけです。そして翌年2月に行われた冬の観察会に、初めて「民話と紙芝居」と赤谷の森自然散策のコラボ企画を実施。その時に赤谷プロジェクト地域協議会の会員が少ない事を知り、館長と共に正会員になりました。

今後、赤谷プロジェクト関係者と行ってみたい企画等がありましたらお願いします。

今年度赤谷森林ふれあい推進センターの、「赤谷の森自然散策」という企画で、一年を通して三回のイベントを「民話と紙芝居の家」とのコラボで実施させて頂いています。大変好評なので、今年度以降も内容を検討しながら同様の企画をして頂けたらと思います。また、自然散策だけでなく、今年実施した千葉村での火おこし体験やロケットリーフの作成、山の木の実を使ったネイチャークラフト教室も素敵です。今後も楽しい企画を沢山考えて、一緒にさせて頂けたらいいと思います。



赤谷の森自然散策 (H26.10.25)

赤谷プロジェクトへ一言!お願いします。(何でもOK!)

新しい企画のお話を頂く度にドキドキワクワクしています。赤谷プロジェクトの活動をもっとたくさんの方々知ってもらいたいので、これからも楽しい企画に期待しています。今後も子供達に豊かな自然を伝えていくお手伝いをさせて頂きますので、よろしくお願い致します。

みなかみココイラ2014にパートナーとして今年も参加!

ココイラHP
<http://cocoira.jp/>

みなかみ"cocoira" (ココイラ) とは、地元の方が地元の人を案内して、みんながこの町を好きになるための小さなプログラムの集まりで、温泉地として地域の活気とつながりを再生するまちづくりイベントです。



森の探検ウォークラリー

～火起こし体験と探検隊カラー!～

H25.9.27 4つのポイント(①トレジャー・カード②ターゲット・アニマル③森の動物たち④樹木の種子)を順番に回り、解説を聞いたり、双眼鏡・無線機等を使用しながら各ポイントを回りました。

ネイチャークラフト教室

～マツのコ・デラックス豪華版!～

H26.10.15



松ぼっくりやドングリなどの木の実とビーズ等を使って、豪華なクリスマスデコレーションツリーを作成します。完成度の高い作品を作りながら、自然の素材の良さを体感していただきました。

「NHKほっと群馬640」に出演!

H25.9.26



みなかみココイラをPRするためにココイラの関係者とクラフト作品を持って出演してきました。

森の恵みと学びの家がプレオープン



平成26年10月26日 みなかみ町の観光拠点「たぐみの里」に、赤谷プロジェクトを発信する拠点! 「森の恵みと学びの家(みなかみ町須川997)」がプレオープンしました。

この施設は、赤谷プロジェクトの情報発信に限らず、「森の恵み」を感じたり、「学んだり」「作ったり」できる場所として、様々な活動を行ってゆく予定です。



赤谷プロジェクトに関するイベント予定

イベント名	実施日	備考
赤谷の森自然散策 (スノーシューでの観察会)	H27.2/11(水・祝)	募集開始: 1月下旬予定(20名)

※イベントの詳細等は、準備ができ次第赤谷森林ふれあい推進センターHPに掲載致します。

お知らせ

- 関東森林管理局 人事異動 (H26.11.1)
- 計画保全部長 寺川 仁 → 井出 光俊
- 森林整備部長 木暮 甲吉 → 寺川 仁



色々な活動をしているよ!

赤谷プロジェクトの活動

トピックス



H26.8.25

猿ヶ京温泉赤谷湖上花火大会のイベントで、ネイチャークラフト体験を実施しました。ぐんまちゃんも遊びに来てくれました。



H26.10.2

沼田北小学校5年生「森の探検ウォークラリー」無線機や双眼鏡等を使用して、4つのポイントをまわりながら、森の動植物について学習しました。



H26.10.8

新治小学校6年生「秋の遠足」旧三国街道での歴史や森について学びながら新潟県側まで歩きました。



H26.10.10

赤谷の森基本構想改定のため、みなかみ町まちづくりビジョン策定委員会の委員の方々と意見交換を行いました。



H26.10.23

群馬県農林大学校「森林管理実習Ⅱ」赤谷プロジェクトの目的である、生物多様性の復元と持続的な地域づくりの取り組みを学習しました。



H26.10.24

東京農工大学(大学院農学国際環境農学専攻)留学生を含む学生等の赤谷プロジェクト見学会を実施しました。



H26.10.25

「赤谷の森自然散策～深まる秋と紙芝居～」みなかみ町と共催により、錦秋に染まるブナ・ミズナラの旧三国街道を散策しました。



H26.11.5

「環境省自然保護官等研修Ⅲ」環境省環境調査研修所(所沢市)にて、自然保護官等を対象に赤谷プロジェクトの取組を三者協働で紹介しました。



H26.11.12

利根実業高等学校グリーンライフ科2年生を対象に自然環境や保護活動に対する知識を深め、今後の学習に役立てることを目的に校外学習を実施しました。

赤谷プロジェクト、って?

赤谷プロジェクトは、人と自然の共生と持続可能な地域づくりをめざして活動しています。地域、自然保護団体、国有林管理者という立場の異なる三者が共に活動するという、全国的にもめずらしい取り組みです。

活動地域は、群馬県みなかみ町北部、新潟県との県境に広がる約1万 ha (10km四方) の国有林。ほぼ中央に赤谷川が流れることから「赤谷の森」と呼んでいます。

植物や生き物の調査・研究、環境教育、研修の受け入れなど、活動はさまざま。毎月第一土曜日に行われる「赤谷の日」には、県内外のサポーターが調査や体験学習などを行っています。どなたでも参加できますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

※トピックスの詳細は

赤谷森林ふれあい推進センター

検索



赤谷プロジェクトサポーター募集!

(たくさん笑顔がまっます(´▽`) /)



赤谷プロジェクトは、一緒に活動に加わっていただけるサポーターを募集しています。活動の中で研修の機会を豊富に用意しているため、自然や野外活動の知識や経験がないと心配される方も、学びつつ活動に参加できます。

■お問合せ先

日本自然保護協会：出島・藤田

赤谷プロジェクト地域協議会

TEL 0278-66-0888

代表幹事 林 泉

メールアドレス kawafuru0888@gmail.com

(公財)日本自然保護協会【NACS-J】

TEL 03-3553-4107

プロジェクト担当 出島 誠一

http://www.nacsj.or.jp/akaya/index.html
メールアドレス akaya@nacsj.or.jp

林野庁関東森林管理局
赤谷森林ふれあい推進センター

TEL 0278-60-1272

所長 藤澤 将志

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/kanto_akaya_fc/index.html
メールアドレス akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp